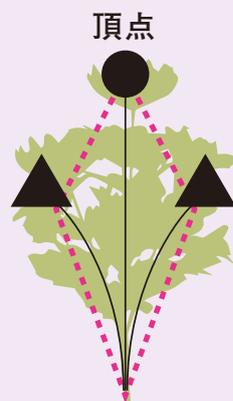


# 墓前用供花 アレンジのポイント

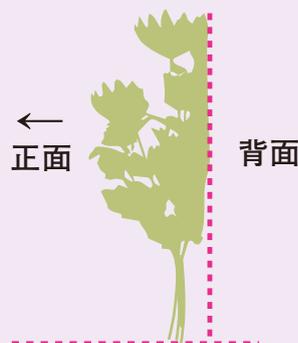
## Point 1 フォームはひし形が基本

まず頂点(●)を決め、花(▲)を2輪、両サイドに添えます。この3点をベースにしたひし形をキープしたまま、他の花々を添えていくと、基本のフォームが出来ます。



## Point 2 背面はフラットに。

花立ての後方にある墓石にぶつからないよう、アレンジの背面はフラットに仕上げるのが基本となります。また、このフォームは段違いに並べられる祭壇用供花でも用いられます。お札を挿すときにも邪魔になりません。



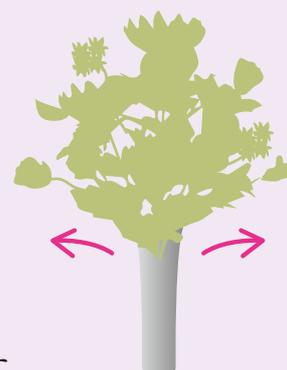
## Point 3 ステムは花立ての 高さより短くカット

全国の平均的な花立てのサイズはφ6cm高さ19cmです。花立ての底部にステムがつくと、グラつきの原因となるので、花立ての高さより4~5cm短くステムをカットします。



## Point 4 アーティフィシャルが 適している理由

墓石用花立ての平均サイズは約φ6cm。花向きを自在に操れるアーティフィシャルフラワーなら、小さい口径の墓石用花立てでも左右に広げることができ、美しいフォームに仕上げることができます。



サイドへ広がりをもたせるラインが出来ます。